



至誠

生徒指導部だより
種子島中央高等学校生徒指導部 4月号
平成29年 4月27日

1 入学おめでとう！

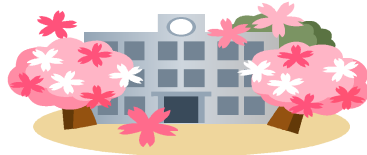
卒業式後、少し寂しい思いをしていましたが、4月7日に本校第10回入学式が挙行され、新しく96名の仲間を迎えました。夢や希望、少しの不安を抱きながら入学した新入生の皆さんは、たくさんの方々から暖かいお祝いや励ましの言葉をいただき、改めて本校3か年の「学び」について決意を新たにしましたことでしょう。



さて、生徒の皆さん、4月は1年のスタートの月、言わばお正月のようなものです。「1年の計は元旦にあり。」お正月には1年の目標や願いを誓うように、今一度自分自身の1年間の目標を立ててみてください。

2 本気になる

世界が変わる 自分が変わる
変わらなかったら、
まだ本気になっていない証拠である！



「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。そうではない。最も頭のいいものか。そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ」

「進化論」のチャールズ・ダーウィン

「過去のせい、人のせい」にしてばかりいるのは、自分のためによくないのではないのでしょうか。過去を嘆いたり、人を恨んだりして自分が苦しむだけでしょう。

「過去のせい、人のせい」にしているだけでは、何も変わりません。過去も変わらないし、人も変わらないだろうし、自分も変わりません。自分が変わらなければ、同じことの繰り返しになるのではないのでしょうか

心理学者 W・ダイアー

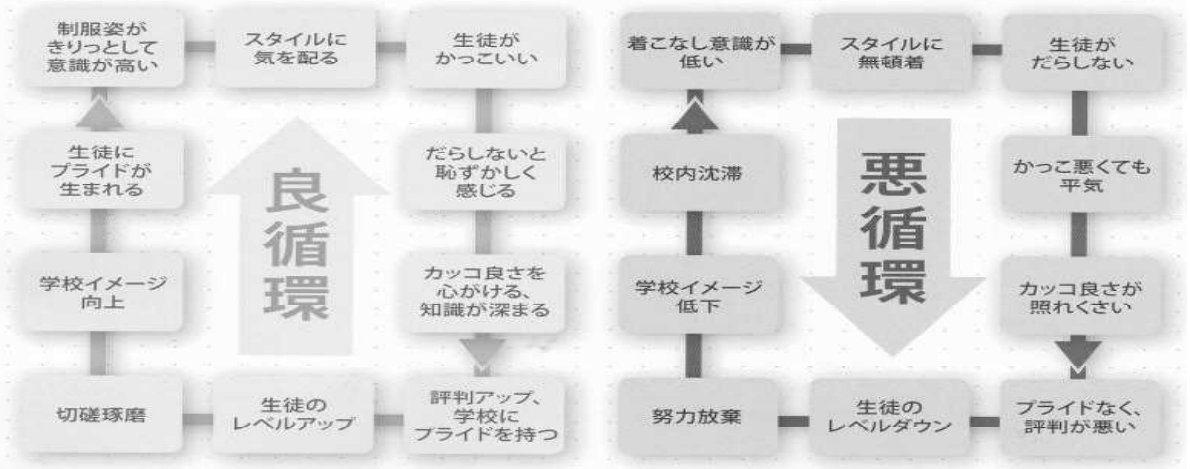
『変えられるものは変える勇気を
変えられぬものは受け入れる謙虚さを』

西洋の格言より

変わるためには、勇気（何事にもくじけない強い心）が必要です。また、変化には大変な苦痛が伴うかもしれません。しかし、変わらなければ、何も進歩はせず、人間的な成長もありえません。そういう意味では高校3年間は、人間としての変化、つまり成長において大変重要な時期なのです。

3 制服の「着こなし」だいじょうぶですか？

制服の良循環・悪循環



制服の効用

- 教室を学びモードに演出する効果
- 学ぶ自覚を促す
- プライド増幅(入試に受かった証)
- 平常心で力を発揮(試験や面接時、着慣れた制服で臨み、力を発揮)
- 経済性(私服のように何枚も要らず、丈夫で結局経済的)
- 連帯感や愛校心を育む
- 他校との識別、街中での特定
- 服装が原因で遅刻したり、時間をとられることがない(私服のコーディネートで悩む、保護者とトラブルなど)

株式会社トンボ ～美しい制服姿を創るために～ より

制服は私的なカジュアルタイムから、学び鍛える時間へと、気持ちと態度の切り替えを図るものです。しっかり自覚して身も心も整えましょう！

4 交通ルールの遵守！ 交通マナーの実行！



昨年度は、一昨年度に比べ交通事故や交通違反の件数が増加しました。これは生徒のみなさんが「生命の尊さ」の観点から、交通ルールや、交通マナーを守ろうという自覚が足りなかったからかもしれません。外部の方からも単車通学生の交通マナーについて、苦情電話もありました。まだ改善の余地があるということです。朝補習やSHRの開始時刻ギリギリに来る生徒は、急ぐあまりスピードを出し過ぎてはいませんか？単車は便利であると同時に、非常に危険なものであることを再認識し、安全に運転しましょう。

◎交通マナーを守る。(速度超過・一時不停止・危険運転ダメ！)

◎無免許運転・無断免許取得は絶対禁止！→ 非常に危険！

5 今後の主な日程

- 5月 1日(月) 地区大会壮行式
- 5月 8日(月) 地区高体連春季大会
- 5月 9日(火) 中間考査時間割発表
- 5月16日(火)～18日(木) 中間考査
- 中間服準備期間 5月1日(月)～12日(金)
- 中間服完全更衣 5月15日(月)～

